

## 第9回調査グループ会合議事録

日 時 昭和41年7月11日 午後1時～6時30分  
場 所 三井造船本社第3会議室（東京）  
出席者 岡本，中島（竜），更田，浅見（哲），神田，菊池（康），中島（豊），井出野，森口，中村，八谷，岩城，村田，五十嵐，若林  
前回議事録の確認

○訂正：（議事4）計算関係グループに中村委員を加える。

### 議 事

#### 1 データシート整理作業班報告（浅見（哲））

第3回整理作業が7月6，7日東海でおこなわれた（中島（竜），神田，村田，河原崎，浅見（哲））

これからは，データシート記入方法について確認，変更等があったときには議事録に残すことになった。Key words の解釈，書きやすさと利用を考慮してデータシート記入基準をきめることについて意見がだされた。データシート記入マニュアルの改定，増補<sup>版</sup>をつくる準備が必要であることが確認された。

#### 2 Computer Index

Key words，Output format について田中委員が中心になって担当委員のあいだで至急に原案をつくることになった。その前に，Key words 等にかんするコメント，解釈を文書で関係者に問い合わせる。（更田，浅見（哲））

#### 3 41年度計算実行計画（八谷）

41年度計算実行計画のひとつとして中性子核分裂断面積コードをつくることの提案と説明があった。計算方法としてErba et al. の統計モデルをもちいる。

作成期間は7月～11月。

核データグループとして今年度はこの計算をおこなうことに決定した。八谷、中村両委員が中心になって、このための勉強会をまず、7月29日(金)東海でひらく。

○そのほか、OPTIC関係については、早々に五十嵐委員が具体的に提案する。

○STEVEでのProductionについて希望があったらだしてもらいたいと八谷委員から要望があったが、五十嵐委員から自主的にproductionをする方法についてもかんがえてよいのではないかというコメントがあった。

#### 4 Pu-239, Pu-241の文献ネガの収集についての提案(菊池(康))

高速中性子断面積研究会のためのPu<sup>239</sup>, Pu<sup>241</sup>にかんする文献ネガの収集を調査グループの活動のひとつとしてもらいたいという提案があった。

※複写費にかんしては、シグマ委からできるように運営委員会にはかることになった。文献ネガ保存にかんしては、次回の会合で継続討議する。

#### 5 その他

○データシート記入雑誌の分担

Nuovocimento 大田(京大工)

J.of Nucl. Energy 菊池(康)

Nucl. Sci. & Technology 八谷

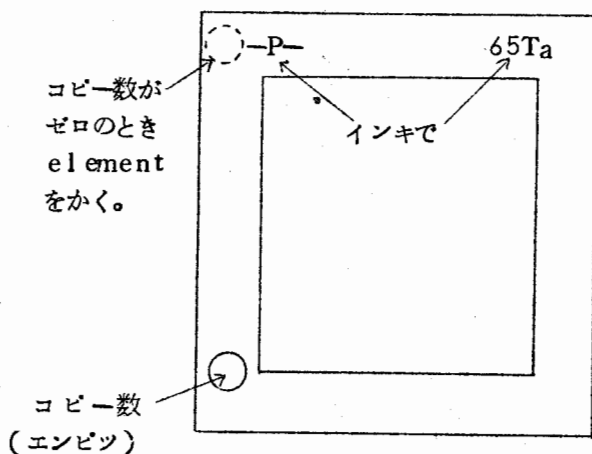
NSA 中島(竜), 西村

○核データグループと炉定数グループとの会合をちかいうちに開いてほしいという要望が岡本委員からあった。

○次回, 8月24日(水) 東京(本部)午後1時

## データシート記入についての要望

- Coverage form とともに提出したデータシートの Volume , Number がすぐわかるように, Coverage form の中でそれらを赤線でかこむなどして明示すること。
- Nuclide の Z 番号を明記すること。
- データシート Entry 数の右にカッコで必要なコピーの枚数も記入すること。



- データシートの分類記号を上のように記入者ができるだけかくこと。  
コピー数はエンピツで記入する。